

LPガスCP情報(2013年11月積み)

1. 11月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 875^{ドル} (前月比 +55^{ドル})

ブタン 915^{ドル} (前月比 +65^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、在庫積み上げ時期に入った輸入国の潜在需要に期待してトレーダー勢が引き合いを強める一方、スポット供給が限定的であったため10月下旬にはややタイトな状況となり市況は堅調に推移した。他方、先物市場は穏やかなバックワーデーション(期先安)で、先高感がなく実需は様子見で閑散。CP先物指標は4週続騰したものの11月CPは割高感が強い。また、極東CFRスポット市況は第4週でプロパン914^{ドル}、ブタン955^{ドル}、フレート市況は軟化したもののネットバックでも11月CPは高い。ナフサは原油市況の下落で軟化し直近で930^{ドル}、ブタン高が顕著になったが、ナフサ代替は期待できず、ブタンも高過ぎ?

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン7.2ポイント、ブタン8.4ポイントの上昇、前年同月比ではプロパン18、ブタン8ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	64.1	64.5	63.9	62.5	63.8
CP先物指標:P	810	844	849	860	841
CP先物指標:B	835	864	874	890	866

② 原油市況等

原油市況をみると、WTIは102^{ドル}、ドバイ104^{ドル}台でスタート。月初はトロピカルストーム「カレン」の影響が懸念され上昇する場面もあったが、米国原油在庫が9月中旬以降急増、5週連続の大幅増(クッシング在庫も10月中旬から2週連続増)となりファンダメンタルズの弱さから21日以降、100^{ドル}割れが続いている。米国の予算審議の紛糾による政府機関の一部閉鎖やデフォルト懸念も市況を圧迫した。イラン核問題協議再開も売り材料となったが、リビアの減産はブレント、中東原油高を顕著にした。一方、先物市場をみると、WTIの建玉(総取組高)は178万枚まで減少(先月ピークから9%減)、大口投機玉ネット買い越しも31.5万枚とピークから5万枚減少している。

○10月積みアラビアンライト(10月1~28日まで)は109.98^{ドル}(前月比-1.34^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン901.75^{ドル/トン} ブタン889.39^{ドル/トン}

AL比 プロパン97.03% ブタン102.88%

2. 2013年11~12月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	98.98	86,608	90,567	+5,300	+6,300
26~25日②	98.92	83,800	87,300	+200	+1,000
1~30日③	98.84	82,900	86,200	-1,400	-700
1~31日④	98.84	83,800	87,200	+100	+800

*TTS平均は①が10月16日~10月30日まで、②は9月26日~10月25日

③は10月1~30日、④は10月1~30日、①は12月仕切への影響、②~④は、11月仕切適用。③は前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。②、④は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。